BL・ALIA 研究成果合同発表会

発表会プログラム

	時間	発表テーマ/発表者
	14:00～14:10	開会挨拶　一般財団法人ベターリビング　清水専務理事
ALIA発表	14:10～14:30	「テレビ放送の現状と最近の伝送実験について」 一般社団法人リビングアメニティ協会　テレビ共同受信機器委員会 委員長　井潤　純也氏
	14:30～14:50	「住宅の省エネ性能向上に係る消費者意識調査について」 一般社団法人リビングアメニティ協会　環境部会 部会長　小池　史郎氏
BL発表	14:50～15:10	「近未来の住宅・住生活市場に対応し得る戦略構築のための基礎的研究について」 一般財団法人ベターリビング　住宅部品評価グループ 事業推進部長　細井　久嗣氏
	15:10～15:30	「戸建て住宅における温熱環境改修調査研究について」 一般財団法人ベターリビング　サステナブル居住研究センター 研究企画部　上席調査役　瀧口　祥江氏
講演	15:40～17:00	「日本の住まいの健康リスク」 慶應義塾大学教授　伊香賀俊治氏
	17:25～17:30	閉会挨拶　一般社団法人リビングアメニティ協会　本多専務理事

伊香賀先生の プロフィール

1959年東京都生まれ

1983/03　早稲田大学理工学部建築学科　大学院修了
1983/04 ～ 1998/06　株式会社日建設計　設備部員、1998年より設備設計主管
1998/07 ～ 2000/03　東京大学助教授
2000/04 ～ 2005/12　株式会社日建設計　環境計画室長

2006/01 ～　現在　慶應義塾大学理工学部システムデザイン学科　教授

専門は建築・都市環境工学。
主な研究課題は、健康長寿を実現する住まいとコミュニティの創造（社会実証研究）、低炭素性・健康維持増進性・知的生産性・震災時の生活業務継続性のコベネフィットに関する研究など。

著書に、『CASBEE入門』、『建築と知的生産性』、『健康維持増進住宅のすすめ』、『熱中症』、『LCCM住宅の設計手法』、『最高の環境建築をつくる方法』など

「日本の住まいの健康リスク」の講演要旨

住まいの寒さが血圧・睡眠・活動量、疾病・要介護状態に与える影響

健康日本21（第2次）において、「日本国民の血圧の平均値4mmHg低下により、循環器疾患による年間死亡者が約14,000人（脳血管疾患9,300人＋虚血性心疾患4,700人）減少する」とされ、高血圧抑制のために生活習慣改善などの個人レベルの対策が盛り込まれている。しかし住宅等の生活基盤整備など社会レベルの対策の影響は明らかでなく盛り込まれていない。このため、1都16県（高知、山口、山梨が主）の成人男女を対象に、冬季2～4週間の自宅の居間・寝室・脱衣所の温湿度計測、起床時・就寝時の家庭血圧測定、測定日誌記入、自記式質問紙調査を実施し、331名から有効データを得た。このうち居住年数10年以上で家庭血圧測定日数が5日間以上の169名（平均年齢60歳）を対象として、起床時の収縮期血圧と拡張期血圧を目的変数としたマルチレベルの多変量解析を行い。日本の住宅の健康リスクについて紹介する。また、住宅新築前後の血圧、睡眠効率、体温、各種症状の変化の調査・分析結果についても紹介する。

BL・ALIA 研究成果合同発表会

ALIA

開会挨拶　　　清水専務理事

テレビ共同受信機器委員会　　委員長　井潤　純也氏

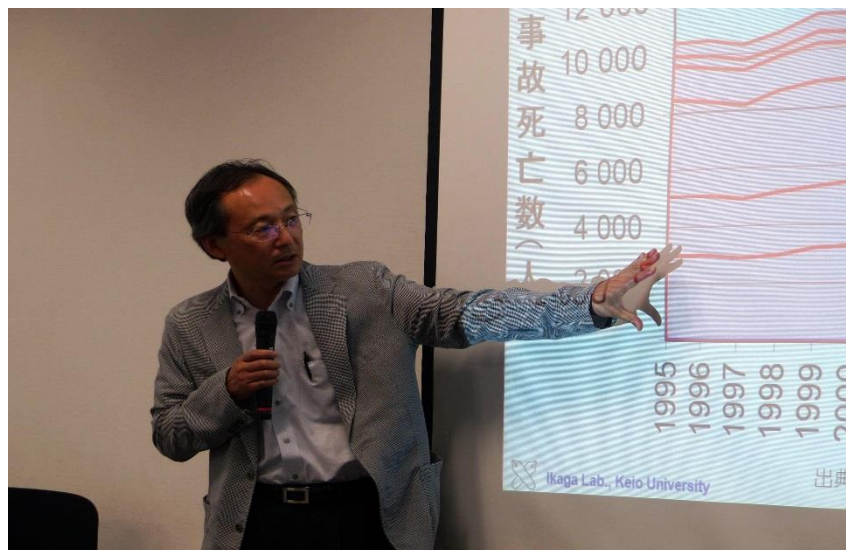
環境部会　　　部会長　　　小池　史郎氏

住宅部品評価グループ　事業推進部長　　細井　久嗣氏

BL・ALIA 研究成果合同発表会

ALIA

サステナブル居住研究センター　上席調査役　瀧口　祥江氏

慶應義塾大学教授　　　伊香賀俊治氏

慶應義塾大学教授　　　伊香賀俊治氏

閉会挨拶　　　本多専務理事

BL・ALIA 研究成果合同発表会

会場風景

会場風景

懇親会

出席者	ALIA関係者	66名
	BL関係者	21名
	講師	1名
	事務局	5名
合計		93名